

科目名	音楽基礎A2							年度	2025
英語科目名	Basic Theory of Music A2							学期	後期
学科・学年	ミュージックアーティスト科 1年次	必/選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	恒枝賢治		教員の実務経験	有	実務経験の職種	ミュージシャン			
【科目の目的】 ミュージシャンとして必要不可欠な音楽理論の習得を目的とする。音符の読み書き、音程の把握、調性と音階、コードの仕組み、ダイアトニックコード、ドミナントモーションなどの基礎的な音楽理論を学び、より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏に活かせる知識を身につける。									
【科目の概要】 音楽理論を習得するためには、一つ一つの授業の内容を正しく理解していく必要がある。授業中に配布される課題に積極的に取り組み、学生同士で教えあうことでさらに理解を深めることができる。不明な部分があれば必ず担当教員に質問し、理解できない状態で授業を進めることの無いようにすること。									
【到達目標】 A. 3和音コードの構成、4和音コードの構成、テンションがわかる。 B. より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏にどう生かせるかを知る。 C. 3和音コードの構成、4和音コードの構成、テンションの範囲に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する。									
【授業の注意点】 専門学校は、社会人としての行動・あり方を学ぶ「職業訓練」の場であるという考えから、他の授業・実習と同様、出席状況については厳しく評価する。また、授業中の態度（居眠り、私語など）にも厳しく対応する。卒業後の自分自身の生きる力を得るものであり、自分自身のこととして主体的な考え方をもち、積極的な姿勢で授業に参加してほしい。なお、授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック評価	レベル3 優れている		レベル2 ふつう					レベル1 要努力	
到達目標A	3和音コードの構成、4和音コードの構成、テンションがわかる		3和音コードの構成が					到達目標Aについてさらなる努力が必要	
到達目標B	より音楽を深く理解し、最終的に実際の作曲やアレンジや演奏にどう生かせるかを知る		実際の作曲やアレンジや演奏と授業内容の関連性がわかる					到達目標Bについてさらなる努力が必要	
到達目標C	3和音コードの構成、4和音コードの構成、テンションの範囲に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する		3和音コードの構成の範囲に限定した音楽用語と記譜法を学び習得する					到達目標Cについてさらなる努力が必要	
【教科書】 決定版音楽理論ワークブックポピュラー音楽を完全理解									
【参考資料】 特になし									
【成績の評価方法・評価基準】 評価基準はルーブリック評価に基づき、試験50%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、授業内発表・提出物30%(知識及び技能のほかに思考・判断・表現を評価する)、平常点20%(主体的に学習に取り組む態度を評価する)									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		音楽基礎A2			年度	2025
英語表記		Basic Theory of Music A2			学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	コード①	基本の3和音を理解する	1 3和音	3和音について理解できる	3	
			2 メジャー	メジャーについて理解できる		
			3 マイナー	マイナーについて理解できる		
2	コード②	基本の3和音を理解する	1 デイミニッシュ	デイミニッシュについて理解できる	3	
			2 オーグメント	オーグメントについて理解できる		
			3 サスフォー	サスフォーについて理解できる		
3	コード③	基本の4和音を理解する	1 4和音	4和音について理解できる	3	
			2 7thコード	7thコードについて理解できる		
			3 6thコード	6thコードについて理解できる		
4	コード④	コードの転回形を理解する	1 転回	転回について理解できる	3	
			2 転回の法則	転回の法則について理解できる		
			3 コード表記	コード表記について理解できる		
5	コード⑤	分数コード、クローズ、オープンコードを理解する	1 分数コード	分数コードについて理解できる	3	
			2 クローズ	クローズボイスイングについて理解できる		
			3 オープン	オープンボイスイングについて理解できる		
6	テンション	テンションを理解する	1 9th	9thテンションについて理解できる	3	
			2 11th	11thテンションについて理解できる		
			3 13th	13thテンションについて理解できる		
7	非和声音(ノンコードトーン)①	非和声音を理解する	1 倚音	倚音について理解できる	3	
			2 経過音	経過音について理解できる		
			3 刺繍音	刺繍音について理解できる		
8	非和声音(ノンコードトーン)②	非和声音を理解する	1 逸音	逸音について理解できる	3	
			2 先行音	先行音について理解できる		
			3 掛留音・保続音	掛留音・保続音について理解できる		
9	ダイアトニックコード①	ダイアトニックコードの基本を理解する	1 3和音	3和音について理解できる	3	
			2 4和音	4和音について理解できる		
			3 表記方法	ローマ数字を使って表記できる		
10	ダイアトニックコード②	ダイアトニックコードの機能を理解する	1 トニック	トニックの機能を理解できる	3	
			2 サブドミナント	サブドミナントの機能を理解できる		
			3 ドミナント	ドミナントの機能を理解できる		
11	ダイアトニックコード③	終止形(ケーデンス)を理解する	1 ドミナント終止	ドミナント終止について理解できる	3	
			2 サブドミナント終止	サブドミナント終止について理解できる		
			3 SD-D	SD-Dについて理解できる		
12	ドミナントモーション	ドミナントモーションを理解する	1 強進行	強進行について理解できる	3	
			2 不協和音の解決	不協和音の解決について理解できる		
			3 II-V-I	II-V-Iについて理解できる		
13	マイナースケール	3種類のマイナースケールを理解する	1 ナチュラル	ナチュラルについて理解できる	3	
			2 ハーモニック	ハーモニックについて理解できる		
			3 メロディック	メロディックについて理解できる		
14	後期試験対策	後期試験に向けた対策	1 総合復習	後期に学んだ内容を復習できる	3	
			2 質疑応答	不明な部分を積極的に学習できる		
			3 模擬テスト	模擬テストに取り組み試験対策できる		
15	1年次の復習	1年次に学んだことを振り返る	1 後期試験の添削	後期試験を見直し、間違えた箇所を自覚できる	3	
			2 質疑応答	不明な部分を積極的に学習できる		
			3 2年次の目標	2年次の目標を立て、自発的に学習できる		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

備考 等